

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2022年9月12日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、一部に供給制約による下押しの影響がみられるものの、基調としては持ち直している。

すなわち、設備投資は高水準で推移している。個人消費は、一部に感染症再拡大の影響がみられるものの、基調としては持ち直しつつある。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は持ち直しの動きがみられる。こうした中、企業の生産は増勢が鈍化している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに改善に向かいつつある。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、高水準で推移している。

6月短観における設備投資（全産業）をみると、2022年度は、前年を下回る計画ながら高水準となっている。

個人消費は、一部に感染症再拡大の影響がみられるものの、基調としては持ち直しつつある。

大型小売店の売上は、一部に感染症再拡大の影響がみられるものの、基調としては持ち直しつつある。

乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。

家電販売は、底堅く推移している。

主要観光地の入込客数（5～7月）は、引き続き持ち直した。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

公共投資は、持ち直しの動きがみられる。

- 企業の生産は、増勢が鈍化している。

化学は、緩やかに増加している。パルプ・紙・紙加工品は、持ち直しの動きがみられる。はん用・生産用機械は、増勢が鈍化している。金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械、食料品は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに改善に向かいつつある。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2%程度のプラスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（7月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分拡大した。
貸出約定平均金利（7月）は、前月比低下した。
- 預金（7月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。
- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上